

# JR東労組盛岡

No. 140  
2022年5月27日  
東日本旅客鉄道  
労働組合  
盛岡地方本部

〒020-0045  
盛岡市盛岡駅西通二丁目16番31号  
発行人 佐々木克之  
編集人 情宣部  
NTT 019-623-1011 FAX 019-624-0157  
JR 033-2238・2239 FAX 033-2230

## 2022年度夏季手当等に関する申し入れ

### 第1回団体交渉

申28号

組合



満額回答を強く求める!

- 2021年度期末手当決算では運輸収入や不動産・ホテル事業は増収増益、単体における営業利益は前年度比2400億円増の1兆4241億円、営業利益、当期純利益も損失を計上したものの増回復した。2022年度の業績は黒字予想だ。記録的な大雪の中の雪害対応、3月の福島沖地震の対応および復旧、GW期間においても奮闘し、新幹線・在来線の利用状況も前年比217%だった。
- ウクライナ情勢を受け物価上昇が止まらない。期末手当は生活給の要素が高く収入増を求める組合員の声は多い!
- 環境の変化や矢継ぎ早に示される施策等により労働密度が高まり続けている労働実感・実態であるにもかかわらず、賃金が上がらない事に対する不満や不信、将来を不安視し収入増を求める組合員の声は多い!
- この間の交渉で賃金交渉において、会社は「社員の生計費水準を考慮する」「物価上昇を把握している」と回答している。職場の努力により黒字予想が出ている事を踏まえれば、夏季手当において物価上昇・インフレに直面する生活費水準に考慮する事は、組合員・社員に対す会社の責務だ!
- 日々の努力に対し、会社は赤字・コロナ禍だからと我慢を強いるかのような低額回答が要因となり、人材の流出がとまらないと認識し、警告を行ってきた。

「人材定着・確保」「生活実感」「労働実感」、たゆまぬ努力を続ける組合員・社員と家族の奮闘に報いモチベーション維持・向上を実現することが必須であることから満額回答を強く求める!

会社

- ◆期末決算としては過去2番目に低い営業収益・運輸収入。本業の力を示す営業利益は、2期連続の赤字を計上し、昨年秋の業績予想を下回る極めて厳しい結果となった。
- ◆供給面での制約、原材料価格の上昇、金融資本市場の変動などによる下振れリスクに十分留意する必要がある。
- ◆人々のライフスタイル、働き方、価値観の変容を持って鉄道のご利用はコロナ禍前の水準には戻らないとの認識。
- ◆今年度は復活の年としてグループの総力を上げて黒字化を実現しなければならない年である。
- ◆夏季手当の議論に関する基本的なスタンスは、会社の持続的な発展が社員還元のさらなる充実、働きがいの向上、社員・家族の幸福の実現につながる考えのもと、2期連続で大幅な赤字を計上しているという非常に厳しい経営環境、直面する経営課題について認識を共有することが、今夏季手当の議論の前提になる。
- ◆直近の業績動向を念頭に支給水準については慎重に判断しなければならない。

組合員の労働実感、生活実感、実際職場で苦勞している現実など  
「本音の声」を出し合おう!  
そして満額回答獲得に向けて職場からたたかいを創り出そう!